

教育課程上の位置付 特別活動(学校行事 文化的行事)

実施概要

当校は高等部単独の知的障害の特別支援学校です。

社会貢献活動については、日頃から作業学習や現場実習、部活動を通じ、地域での活動を行っています。ビジネスチャレンジ班においては、施設や田無駅においてコーヒーの販売、農園芸班においては地域での野菜の販売、表現活動部は近隣高校文化祭の演劇発表などです。

今回は、地域の高齢者に対する社会貢献活動への取り組みとして、全校の行事である「音楽鑑賞会」に高齢者をお招きして一緒に音楽を楽しんでいただくという企画を立てました。加えて、生徒による直接の交流として、歓迎セレモニーを行い、生徒が授業で作製している作業製品を贈呈し、説明しました。この交流には生徒会の役員5名が参加しました。

対象となる武蔵野徳洲苑は、平成24年開設の介護老人福祉施設で、当校から徒歩圏にあり、今年度より当校の現場実習先として受け入れていただいています。



これは私が作った布工製品です。どうぞ

活動報告 実施日：11月16日(水)

全校の行事である「音楽鑑賞会」に施設利用者をお招きするにあたり、まず、社会貢献活動として、生徒による出迎えからご案内、歓迎セレモニーの場を設けました。

歓迎の交流では、生徒会役員の歓迎の挨拶に始まり、それぞれの生徒が作製した作業製品を参加の施設利用者一人一人に贈呈し、説明するなど直接のふれあい交流を行いました。

音楽鑑賞会の会場にご案内する際は、全校生徒が着席して拍手で迎えるなど、生徒全員参加でのおもてなしに努め、施設利用者の方々に気持ちよく音楽を楽しんでいただくようにしました。

活動参加者 内訳 当校 生徒…5人 担当教員…3人
交流先 利用者…10人 担当職員…5人

交通手段 当校と武蔵野徳洲苑との距離はおおよそ1km
車で約5分

当日のスケジュール

- 12:35 学校・さわやか青少年センター・都教委、3者打合せ
- 13:05 音楽鑑賞会会場準備(2、3年Ⅲ類)(会場:体育館)
施設利用者、車で到着。生徒会役員が出迎え
○多目的室にてふれあい交流
・歓迎の言葉 ・自己紹介 ・作業製品を説明し贈呈、歓談
- 13:25 開演
- 13:30 ○音楽鑑賞会会場へ案内 音楽を楽しんでいただく。
施設利用者退席
- 14:00頃 (多目的室にて)担当教員によるお礼の言葉 お見送り

活動のために準備したもの

- 作業製品(布工製品、木工製品)
- 音楽鑑賞会のプログラム ●歓迎挨拶

工夫したところ

- 音楽と一緒に楽しむことが今回のメインであったが、その前にセレモニーの時間を設けて直接生徒と高齢者の方が関われる場面を設定したこと。

実施にあたって注意したところ

- 高齢者の方をお招きするにあたって、安全の確認。
- 先方との時間調整(トイレのタイミングなど細かく)。

良かったと思うところ

- 直接生徒が地域の高齢者と話す機会を作れて、お互いが良い表情で会話できたこと。
- 音楽と一緒に楽しむことができたこと。

今後に向けての学校からの抱負

- 奉仕活動だけにとどまらず、お互いの交流がさらに深まるともっと良いと思います。
- 本校の場合、作業学習で喫茶の運営を行っているので行事ではなく、定期的に本校に足を運んでいただき、接客のアドバイス等交流できればと思います。
- 表現活動部など、高齢者施設に出向き一緒にレクリエーション活動ができるとよいと思います。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 緊張したけれど、なかなか高齢者の方とお話する機会もないので、よい経験になった。
- 作業製品の説明は難しかったけれど、喜んでもらえて嬉しかった。
- 一緒に音楽を楽しめた。

教員

当日は、緊張の表情で歓迎の言葉から始まり自己紹介をしました。緊張する生徒たちに、高齢者の方から「いいよ!」「かっこいいよ!」と励まされると、自然と笑顔になりお互いが心を開いたとても素敵な時間に変わっていくのがよくわかりました。人はこういう経験を重ねることで、他者への労りや優しさが芽生えてくると改めて思いました。今後このような取り組みが日常化され、多くの生徒が同じ体験ができれば良いと思います。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 私は音楽が大好きです。音楽鑑賞会へご招待いただけるお話を聞いて、毎日心待ちにしておりました。
- 日常では叶わないことなので、感銘し良い思い出になりました。ありがとうございました。
- 素晴らしいプロによる生演奏を生徒さんと一緒に楽しむことができたことを大変嬉しく思います。

事務長

生徒さん主体による、「音楽鑑賞会」を実施し、高齢者施設の入所者様を来賓として招待し、喜んでいただくという目的は大成功だったと思います。生徒さんによる音楽鑑賞会の円滑な運営はお見事でした。また、当苑をご招待くださったご厚意に対し、深く感謝の意を表します。素晴らしい音楽鑑賞会をありがとうございました。



私が心を込めて作りました



音楽会へのお招き、ありがとうございます

■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

- 8月19日 当校と(コ)、当校にて第1回打合せ。社会貢献活動の対象を実習先、就職先である施設に進路指導部を通して打診する。
- 10月3日 当校と(コ)、当校にて第2回打合せ。
- 10月18日 当校と都教委と(コ)、当校にて第3回打合せ。
武蔵野徳洲苑に当校の社会貢献活動にご協力いただくことが決定。
- 10月25日 当校の担当教員と(コ)が武蔵野徳洲苑を訪ね、当日の動き、施設からの参加者の状況、注意すべき点など、具体的な打合せを行う。
その後、担当教員、施設担当者、(コ)で詳細を詰め、当日に至る。

交流先



医療法人 沖繩徳洲会 介護老人保健施設
武蔵野徳洲苑

住 所:東京都西東京市向台町3丁目5番57号

■施設概要

- 入所療養介護 入所定員150名
- 短期入所療養介護(ショートステイ)
- 通所リハビリテーション(デイケア) 通所30名

教育課程上の位置付 特別活動(学校行事 文化的行事)

実施概要

当校は、平成24年4月、高等部単独の知的障害者の特別支援学校として開校しました。

目指す学校像は、「自立と社会参加を目指し、生きる力を育む学校」であり、「自立と社会参加へのチャレンジ」に取り組んでいます。

そこで、今回は、当校の文化祭である『こぶし祭』の前日祭に、当校と隣接する『シルバーハート光が丘デイサービスセンター』を交流先として初めてお招きしました。

生徒たちが地域の方とふれあう機会とするとともに、社会貢献活動としてデイサービスの利用者に軽音楽部・ダンスパフォーマンス部の発表を参加型で楽しんでいただく企画にしました。

利用者には、事前に演奏の演目をお知らせし、練習を重ねていただき、歌や演出に加わって楽しんでいただきました。生徒も利用者と一緒にふれあうことができました。



さあ、盛り上がり行くよー

活動報告

実施日:11月25日(金)

当校体育館にシルバーハート光が丘デイサービスの利用者を招いて実施しました。

前半は、軽音楽部による発表です。「こぶし祭のテーマ」、「ヒカリへ」、「前前前世」を演奏。利用者には、練馬特別支援学校特製の半纏を着用いただき、一体感を持っていただくようにしました。また、演奏に合わせてペンライトを振ってパフォーマンスに参加いただきました。

後半は、ダンスパフォーマンス部による舞台、「前向きスクリーム」「スリラー」「乱舞」を踊り、「乱舞」では生徒が利用者の周りを取り囲んで一緒に踊り、一体感を出して盛り上がるように演出しました。

最後に、生徒が利用者へ記念品を手渡し、利用者からは感謝とともに今後も継続を期待する御礼の言葉をいただき、生徒が拍手で利用者を見送って活動を終了しました。

活動参加者 当校 高等部生徒…50人 担当教員…3人
内訳 交流先 利用者…16人 担当職員…3人

交通手段 当校とシルバーハートの距離はおおよそ20m
徒歩で約2分

当日のスケジュール

- 13:20 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ
- 13:45 シルバーハートより、ご利用者移動 → 指定席に着く
- 14:00 開会
前半 軽音楽部「こぶし祭のテーマ」「ヒカリへ」「前前前世」
- 14:25 後半 ダンスパフォーマンス部
「前向きスクリーム」「スリラー」「乱舞」
- 14:40 感想 記念品の贈呈 終了

活動のために準備したもの

- 各部活の発表のDVD ●記念品として木工班制作のプランターカバー
- 鳴子のならし方のDVD ●はっぴ、鳴子、サイリュームライト

工夫したところ

- 部活動発表会に参加ということで、単に観覧に終わらせず「一緒に何かをやる」ということをキーワードにした。
- 生徒と同じはっぴを着ていただくことで、一体感を演出した。

実施にあたって注意したところ

- 軽音楽部発表にあたって、音量に配慮した。
- ダンスパフォーマンス発表時に、席の移動で安全に配慮した。

良かったと思うところ

- 高校生の音楽を受け入れてもらえるか不安だったが、積極的にライトを振って応援していただいた。
- とても素晴らしい感想をいただき、生徒も教員も今後の励みとなった。

今後に向けての学校からの抱負

近隣施設とのつながりができて良かった。3学期から作業学習「清掃班」が学習の一環としてシルバーハートさんの窓ガラスやトイレ、洗面台の清掃をさせてもらっている。これからも発展させていきたい。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- おじさん、おばあさんがエネルギーで良かった。
- おじさん、おばあさんと一緒に踊ることができて、うれしかったです。
- いい思い出ができて良かったです。

教員

ご高齢の利用者様が参加ということで、会場内での移動や着席場所、音楽の音量など先方と打合せを重ねさせていただいた。当日はこちらが思っていたほどは移動などに時間もかからず負担をおかけしなくて済んだと安心した。温かい感想もいただけ、うれしく思った。各部活動顧問教員とも協力し、一体感を作れたと思う。これを機会に双方がより理解を深め、同じ地域の施設として連携していきたい。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 今日は、楽しかったです。また、来年も来たいです。
- 私は、若い頃に「ドラム」をやっていました。今日は、久しぶりにその音を生で聞きました。私も「ドラム」を叩きたかったです。
- 今日まで、テレビを見ながら練習しました。若い人と一緒にするのは、うれしいね。私まで、若くなった気がします。
- 今度は、シルバーハートにも来てね。みんな、待っているよ。

担当者

お向かいの学校で知っていましたが、開所以来、関わりはありませんでした。社会貢献活動とお聞きして、初めての試みでしたので不安はありました。参加するご利用者の皆様がどうかと思いましたが、当日まで細部にわたる打合せをして、生徒のみなさんの練習風景にご一緒できて良かったです。その間、私たちが鳴子の練習等をやりました。若い皆さんからのエネルギーをたくさんいただきました。一緒にふれあい、交流をする素晴らしい時間でした。私どもの事業所にお声を掛けてくださり、改めて、感謝申し上げます。

■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

- 8月24日 当校にて、第1回打合せ。事業内容の確認。(コ)、副校長にて①高校内発表、②高齢者施設からのクリーニング代行、③高齢者施設での掃除、④交流校吹奏楽部との合同演奏会のいずれかで実施するか、日程及び内容を検討。
- 9月26日 当校にて第2回打合せ。(コ)と副校長で協議。前日際と一緒に施設の利用者とふれあうことで決定。
- 10月4日 シルバーハート訪問。(コ)施設管理者より協力の賛同を得る。
- 10月12日 (コ)、管理者、練馬特別支援学校にて、第3回打合せ。
- 11月9日 (コ)、管理者、練馬特別支援学校にて、第4回打合せ
- 11月24日 (コ)、管理者、練馬特別支援学校にて、前日最終確認。当日に至る。

交流先

シルバーハート
光が丘デイサービスセンター

住 所:東京都練馬区高松6-14-19

■施設概要

- デイサービスセンター(通所介護) 1日定員18名



みんなたくさん練習したねえ〜



生徒も高齢者と一緒にパフォーマンス